まちの話題

災害に強い南越前町に　春季消防訓練実施

南越消防組合南消防署と南越前消防団の春季消防訓練が、3月20日南条保健福祉センター付近一帯で行われました。この訓練は、福井県嶺北地方を震源地としたマグニチュード7.0の直下型地震が発生し、南越前町でも震度7の地震により、家屋の倒壊や道路の破損、山崩れなどの被害や同時火災が発生したとの想定で実施。避難が困難となる災害弱者が利用する施設とあって、消火訓練のほか逃げ遅れた人をソフトライディングで救出する訓練も行われました。

参加した消防団員らは「災害時は何が起こるかわからない。消防職員と一体となった救出救護も大事な訓練だと思う。」と熱心に取り組んでいました。

子どもたちの安全を守ろう　防犯ブザーやリストバンドを寄贈

3月22日、河野地区青少年補導委員（坂下祐二会長）から河野小、中学校の全校児童、生徒に防犯ブザーが贈られました。これは、子どもに対する凶悪犯罪が多発している中で、地域が一体となって子どもたちの安全を守ろうと贈られたものです。

▶防犯ブザーは手のひらサイズ。ひもを引っ張ると警報音が大きく響きます。警報音が鳴ったら近くの大人の方は異常を察してください。

また、4月4日には南条今庄ライオンズクラブ（谷口栄助会長）から、町内の小、中学校1年生に交通安全リストバンドが贈られました。このリストバンドは、自動車などのライトが当たると反射材が光り、腕に軽く押しつけると巻き付くようになっていて、夕方や夜間の暗闇の中、子どもたちの安全な通学に役立てればとの想いが込められています。

同日、福井エフエム放送からも、町内の小学1年生に活用してほしいと防犯ブザーが寄贈されました。

福井エフエム放送から贈られた防犯ブザー

河野の玄関口に花を　河野八双会が花壇作り

道路ボランティアサポートの一環として、河野八双会（はっそうかい）が3月27日国道8号新武生トンネル口（河野側）の道路脇に花壇を作りました。道路脇に捨てられた空き缶などのゴミの回収や、下刈りなど清掃を行い、そのあと縦4m横11mの花壇の中に、サツキやツツジ約200本を植え、ドライバーから見えるように「こうの」の3文字を作りました。八双会のみなさんは「この場所は、武生市から河野に入る玄関口。訪れた観光客に河野をアピールしていきたい」と話していました。

6月には文字の周りにベゴニアなどの花も植えられ、ドライバーの目を楽しませてくれそうです。

豪雨を想定し　今庄桝谷ダムで試験湛水

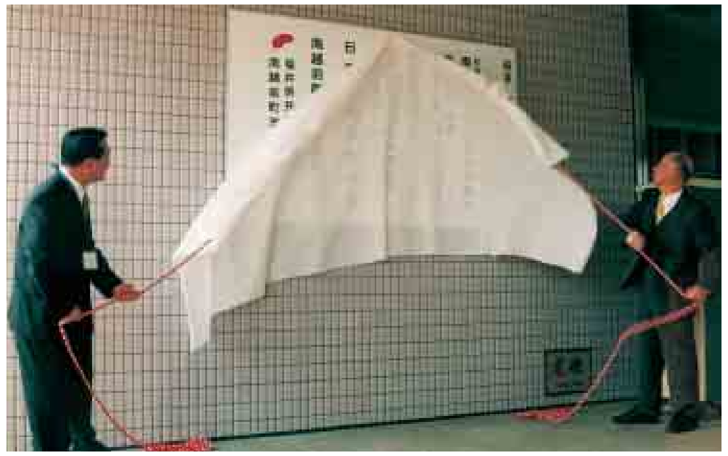
3月31日、平成18年度からの本格的な供用運行に向けて昨年秋から試験湛水を実施している日野川上流の桝谷ダムで、豪雨を想定し、水位を最高位に達せさせて、堤体などを検査する試験湛水が行われました。

桝谷ダムは高さ約100m、長さ約345mのロックフィル式。水底からの高さ90mに常時満水を備え、さらに4.1m上に最高位のサーチャージ水位を設けています。この日は、雪解け水などの影響で予定より10日ほど早くサーチャージ水位に到達。24時間のサーチャージ水位を保った後、6月末までに水位を最低値に下げて堤体などに異常がないかを確かめ、今年の夏には完成検査に入る予定です。

福祉の充実に　新生社会福祉協議会、シルバー人材センター発足

4月1日、旧南条町、旧今庄町、旧河野村の社会福祉協議会及びシルバー人材センターがそれぞれ合併し、南越前町社会福祉協議会、南越前町シルバー人材センターとなって発足しました。

南越前町社会福祉協議会の発足式では、堤野学前今庄町社会福祉協議会長らが、事務所となる南条保健福祉センター入り口にかかった布を取り払った後、堤野前今庄社協会長が職員一人ひとりに辞令を交付し、「地域福祉の充実に努め、頼りになる、町民に愛される社協を目指しましょう」と挨拶しました。



今庄支所は今庄福祉センターに、河野支所は河野保健福祉センター内に置かれ、その後11日に開かれた理事会で互選により堤野学氏が初代南越前町社会福祉協議会長として就任しました。

また、南越前町シルバー人材センターの事務所は今庄保健センター内に置かれ、南条支所はふれあい会館内に、河野支所は河野福祉センター内に置き、高齢者のさらなる社会活動を目指します。

元気いっぱい新１年生　小、中学校で南越前町初入学式

南越前町となって第１号の入学式が４月６日、町内４つの小学校と３つの中学校で行われました。

入学式を迎えたのは、新小学１年生 122 人（男子 66 人、女子 56 人）、新中学１年生 149 人（男子 87 人、女子 62 人）。

南条小学校では、新築された体育館で初めての入学式が行われ、新しい制服に身を包んだ１年生 64 人が緊張気味に入場。大久保校長先生から「自分のことは自分でできる子になりましょう。そして皆と仲良く学校生活を送りましょう」と呼びかけられると元気に返事をしていました。真新しい教科書やピアニカなどを受け取るなどして、学校生活を元気にスタートさせました。

写真：南条小学校

活動しながら交流を　南越前町連合婦人会設立

４月 13 日、南条文化会館で南条地区婦人会、今庄地区婦人会、河野地区女性の会の三地区の婦人会で、南越前町連合婦人会の設立総会が開かれました。

総会には、各地区婦人会の会員ら約 90 人が出席。設立にあたり、設立準備委員会代表の澤崎多美代さんが「町がひとつになり婦人会も連合婦人会として組織する準備を進めてきました。それぞれが知恵を出し合って、明るく住みやすい南越前町のため、活動していきましょう」とあいさつ。

総会では、会則や事業計画、予算が決められたほか、初代会長に澤崎多美代氏（上野）、副会長に関洋子氏（今庄）、右近和子氏（河野）などの役員が選出されました。今後、地区活動に重点を置きながら互いに交流し合い活動していく予定です。

「人肌救助」の思いふたたび　特務艦関東慰霊碑を視察

４月 15 日、福井県海交会嶺北支部の会員 21 人が、大正 13 年 12 月 12 日に激しい暴風雪波浪に見舞われ進路を誤り座礁破船した特務艦関東の遭難園地を訪れました。会員らは、慰霊碑の前で死者に対する追悼の意を込め黙祷を捧げた後、慰霊碑前と遭難現場で元河野村長の清水金二さんから、当時の状況などの説明を受けました。

海軍で自分たちも船の乗組員だったという会員らは、「遭難のつらさはよく分かっている。船員もそうだが、危険と隣り合わせの救助をした地元の方々も大変だったろう。」と説明に聞き入り、自らの危険を顧みず献身的な救助活動を行った当時の河野村民の優しさと、人間愛のすばらしさに対し感銘を受けていました。

南越前町の花便り

４月２日から 21 日、今庄地区でカタクリの花まつり（今庄観光協会主催）が行われました。カタクリの花は、二枚の葉の間から茎を伸ばし、うつ向き加減に咲く可憐な花。今庄地区のカタクリが群生している様子を一目見ようと、多くの人々が訪れていました。

今庄の八乙女頭首工付近の堤防。桜並木のピンクと、菜の花の黄色のコントラストがとても綺麗でした。

南条の日野川堤防沿いに並ぶ約 300 本の桜並木。枝振りが低い堤防道路では、桜がトンネルのように咲き並び、皆の目を楽しませてくれました。

約 100 本の桜が並ぶ河野の桜橋総合運動公園。枝垂桜が一際目を引きました。

心技体を鍛えて　南条武道館で空手初稽古

４月 20 日、武道館で空手教室の初稽古が行われました。空手教室は、これまで河野地区のみで行われていましたが、町の新しい武道館でも教室が行われることとなり、この日は約 20 人のメンバーが武道館での初稽古に汗を流しました。

空手道は礼節も身につき、運動量も多い競技。すでに武道館では、剣道や柔道、合気道の教室も行われており、町でも日本古来の武道を習う仲間が増えてきています。

メンバーらは、体育館と違う立派な武道館を目にし、引き締まった面持ちで稽古していました。興味のある方はぜひ見学してみてください。

空手教室	毎週月曜日	夜７時 30 分～桜橋体育館
	毎週水曜日	夜７時 30 分～南条武道館